

# 宜野湾市平和大使育成事業



## 平和大使 学習報告会

12月6日(火)、令和四年度宜野湾市平和大使育成事業学習報告会を行いました。

平和大使育成事業は、戦争の悲惨さや平和の大切さ、命の尊さを学び次代へ継承していく人材育成を目的としております。今年度の平和大使(市立中学生8名、青年層1名)の9名は、県内の戦跡を巡るなど沖縄戦について学びを深



めました。また、8月には、長崎原爆犠牲者慰霊

平和祈念式典に参加したほか、原爆資料館などで原爆の実相を学びました。長崎には全国の青少年が集い、「日本各地の戦争とこれまで学んだ平和学習について」等のテーマに沿って意見交換を行いました。

平和大使の比嘉夏香さんは、「今回の学習で、沖縄や日本に起きた悲惨な出来事を知り、考える機会をいただきました。今ある幸せが当たり前ではないこと。一人ひとりがほかの人を思い、大切にできる心があれば、平和で幸せな世界は作られると感じました。私たちの力は、微力だけど無力じゃない。その思いを後世に伝えていく大切さを学びました」と、今回の平和学習を振り返りました。



## フオーローアップ研修

12月27日(火)、昨年度の宜野湾市平和大使へフオーローアップ研修を実施しました。今回の研修では、主に社会の視点(戦争がどのような起きたのか)、個人の視点(戦争が一人ひとりにどのような影響を与えたのか)を繋げて考えました。

対馬丸事件がなぜ起こったのか、ひめゆり学徒隊の「戦前↓戦中↓戦後」について、平和の礎が世界

に向けてどのようなメッセージが込められているのかなど、昨年度の振り返り学習に加え、戦争により犠牲になった一人ひとりに焦点をあて学びを深めました。

参加した平和大使は、「戦争がいかにダメな事か、平和であることがどれほど幸せかを伝えたい」と、研修を振り返りました。

## 次世代へ継承できる人材育成及びスキルアップを目指して



▶対馬丸記念館(那覇市)



▶ひめゆり平和祈念資料館(糸満市)



▶平和の礎(糸満市)